

(素案)

第6期

江別市スポーツ推進計画

2019（平成31）年度 ～ 2023年度

いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツを  
～ スポーツで築く「健康都市えべつ」～

2018年（平成30年）年7月

江別市教育委員会



# 目 次

◆ 江別市民憲章	1
◆ 江別市教育目標	2
◆ 江別市健康都市宣言	3

## 第1章 第6期江別市スポーツ推進計画の策定にあたって

I 計画策定の背景と趣旨	5
II 計画の性格と期間	7

## 第2章 計画の基本的な考え方

I 計画の基本方針	9
II 江別市総合計画との関係	9
III 目標と成果指標	9
IV 計画の体系	10

## 第3章 基本目標と基本方向

### 基本目標Ⅰ 生涯スポーツの推進

1 生涯各期におけるスポーツを「する」機会の提供と充実	13
2 各領域におけるスポーツ活動の充実と関係機関・団体との連携	17

### 基本目標Ⅱ 地域スポーツ活動の推進

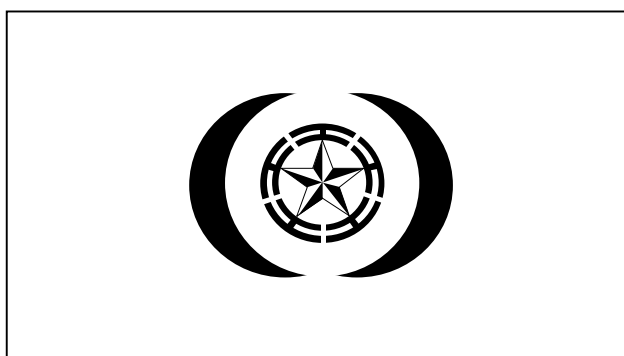
1 地域スポーツ活動の活性化促進	22
2 地域に密着した総合型地域スポーツクラブの支援	28
3 スポーツ・健康づくりの情報提供	29
4 えべつ市民健康づくりプラン21等と連携したスポーツや運動を通じた健康づくりの推進	30

### 基本目標Ⅲ スポーツ環境の整備・充実

1 スポーツ施設の計画的な整備と充実	32
2 スポーツ施設の適正な管理運営	33

## 資料編

諮問書	
答申書	
「第6期 江別市スポーツ推進計画」に係る意見書	
計画策定審議経過	
計画策定関係者名簿	



江別市旗

## 江 別 市 民 憲 章

私たちは、屯田兵によってひらかれた江別の市民です。

ひろびろと広がる石狩平野

ゆうゆうと流れる石狩川

緑深い野幌の原始林

今に残る開拓のあしあと

私たちは、この恵まれた郷土の自然と歴史をこよなく愛し、よりよい江別の発展を願いこの憲章を定めます。

- 1、空も緑も美しい、のびのびとしたまちをつくりましょう。
- 1、力をあわせ、産業をさかんにし、豊かなまちをつくりましょう。
- 1、教養を深め、文化のかおり高いまちをつくりましょう。
- 1、健康でたのしい家庭と明るいまちをつくりましょう。
- 1、老人をいたわり、子どもの夢を育てるまちをつくりましょう。

市民憲章告示 1968年（昭和43年）12月24日

## 江 別 市 教 育 目 標

恵まれた自然と いろどりのある歴史をもった  
可能性あふれる 郷土「江別」に誇りをいだき  
ひとりひとりが自己を充実させ  
豊かな未来を築くために

- 1 常に学習に励み 正しい判断力と 創造性に富む人
- 2 自然をいつくしみ 文化を育てる 感性豊かな人
- 3 心身を鍛え 明るく たくましく生きる人
- 4 健全な家庭と 豊かなまちづくりに 努力する人
- 5 国際的視野に立ち 郷土の発展に 貢献する人

1987年（昭和62年）7月24日制定

## 江別市健康都市宣言

都市と自然が調和するまち江別で、元気で健やかな毎日をおくることは、私たち市民すべての願いです。

この願いをかなえるには、世代をこえて市民一人ひとりが、住み慣れたまちで健康づくりに取り組み、いきいきと過ごすことが大切です。

そのために、健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちをめざして、ここに「健康都市えべつ」を宣言します。

- 生涯を通じて学び、こころと体の健康に関心を持ち続けます。
- みずからの健康を守るため、進んで自分の健康状態を確かめます。
- バランスのよい食事や適度な運動により、正しい生活習慣を守ります。
- 地域とのつながりを大切にし、健康づくりの輪を広げます。

2017年（平成29年）4月1日

江別市長 三好昇

## 第 1 章

---

# 第 6 期江別市スポーツ推進計画の策定にあたって

## I 計画策定の背景と趣旨

江別市におけるスポーツ推進計画は、スポーツ基本法（2011（平成23）年法律第78号）第10条第1項に基づき、国が策定するスポーツ基本計画を参酌し、地域の実情に即したスポーツの推進に関する施策について定める計画として策定しています。

今日、急激な少子・高齢化と人口の減少傾向が進行している中、グローバル化や情報通信技術の一層の進展等により、人や物の流動化・多様化が進み、産業・経済、雇用環境の変容、所得格差の拡大など、市民を取り巻く社会環境は急激に変化しています。

一方、1985（昭和60）年頃を境に子どもの体力・運動能力が低下する傾向が現れ、将来的に生活習慣病の増加やストレスに対する抵抗力の低下などが懸念されることを受け、学校を中心に子どもの体力・運動能力の向上を図る対応策として、体育の授業や運動部活動等を通じて児童・生徒がより積極的にスポーツに親しみ、習慣化することを目指す各種の取り組みが進められてきています。また、他方では少子・高齢化の進展に伴い、次代を担う子どもの健全育成の課題、中高年層の生活習慣病等の予防や高齢者の介護予防を中心とした健康寿命延伸への課題、障がいを持つ市民の社会参加の促進に向けた課題など、市民がスポーツや健康づくりに取り組む目的や意義、活動環境に求めるニーズ等はますます多様化、高度化する傾向となっています。

国においては、2015（平成27）年10月にスポーツに関連する施策を総合的に推進するため、スポーツ庁を創設し、2017（平成29）年3月には「第2期スポーツ基本計画」を策定し、2020年東京オリンピック・パラリンピックなどの大規模な国際大会開催を契機にパラスポーツ、障がい者スポーツ競技を含めた競技スポーツ全般の更なる強化推進とその振興、拡充をはじめ、今後5年間の重要な指針となる、中長期的なスポーツ政策の基本方針として示されたところです。

その方針においては、スポーツの価値の中核は、「楽しさ」や「喜び」であり、すべての人々が自発的にスポーツに取り組み、自己実現を図り、前向きで活力に満ちた絆の強い世界を創ることとしています。具体的には、「スポーツで『人生』が変わる!」、「スポーツで『社会』を変える!」、「スポーツで『未来』を創る!」をキーワードに、計画の期間内にスポーツに参画する人口を拡大するとともに、スポーツ以外の他の分野と連携・協力しながら「一億総スポーツ社会を」の実現を目指すこととしています。こうした方向での考え方は、各都道府県においても同様の流れとなっています。



これまでの江別市のスポーツ推進に目を向けると、1992（平成4）年6月に「財団法人江別市スポーツ振興財団」（注）が設立されたことを契機に、各種スポーツ事業の拡充や機能的かつ弾力的な施設運営が図られてきています。

また、市民皆スポーツの推進母体として設立、自主的、主体的に運営されている「総合型地域スポーツクラブ」の市民PR等による支援のほか、スポーツ合宿の誘致やパラスポーツ競技に代表される障がい者スポーツの啓発、普及等の新たな施策の推進、更には、活動の拠点となるスポーツ施設の利便性や機能面の向上、耐震化等をはじめとする改修整備など、各種の取り組みを通じ、更なる市民スポーツ、地域スポーツの振興につながるレベルアップが図られている状況にあることなどがあげられます。

このような時代の趨勢や背景、それぞれの動きの中で、スポーツ行政においては、改めてその推進のあり方が問われている状況下にあるといっても過言ではありません。

江別市においても、2017（平成29）年度の「健康都市宣言」を背景として、市民の健康づくりとスポーツ活動の関連づけなどを含め、時代の変化に対応した生涯スポーツ推進の新たな展望と目標を提示する必要があります。

これらのことを踏まえ、これまでのスポーツ推進政策における取組の継承とだれもが健康で心豊かな生活を送ることができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、「第6期スポーツ推進計画」を策定するものです。

（注）2013年（平成25）年4月1日から「一般財団法人江別市スポーツ振興財団」

## Ⅱ 計画の性格と期間

本計画は、国の第2期スポーツ基本計画（2017（平成29）年度から2021年度）及び第2期北海道スポーツ基本計画（2018（平成30）年度から2022年度）を参酌するとともに、江別市の最高規範である「江別市自治基本条例」に基づき策定された「第6次江別市総合計画」に示されている分野別の政策「まちづくり政策」に沿って策定されるスポーツ分野の個別計画として位置づけられるものです。

また、市長が定める江別市の教育、学術及び文化の振興に関する「教育大綱」（2015（平成27）年度から2018（平成30）年度）に掲げられている「基本理念」、「基本方針」、「基本目標」が上記の総合計画及び教育分野の各個別計画に充てられていることを念頭に置くものとします。

計画策定におけるこれらの基本的な考え方に併せ、市の関連計画である「えべつ市民健康づくりプラン21」（2014（平成26）年度から2022年度）、「江別市男女共同参画基本計画」（2014（平成26）年度から2022年度）及び「障がい者支援・えべつ21プラン」（2015（平成27）年度から2020年度）などとの整合性を図るものとします。

本計画の策定過程においては、市民アンケートやまちづくりアンケートのほか、パブリックコメントなどを通じて得られた市民からの意見の反映に努め、江別市の地域性を踏まえた計画として策定します。

本計画の期間は、2019年度（平成31）年度から2023年度までの5年間とします。

## 第2章

# 計画の基本的な考え方

## I 計画の基本方針

1. いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも自発的にスポーツに親しみ、心身ともに健康で、明るく、こころ豊かに暮らせるよう、全ての市民がスポーツ活動を通じ、健康づくりや運動習慣の実践、その定着化を目指す。
2. スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことで、市民が「楽しさ」、「喜び」を実感し、社会との絆や関わりを深め、共生社会の実現や新たなまちづくりに活かす取り組みに参画することを目指す。
3. スポーツの価値や力を活かし、更なる市民スポーツ活動の活性化を図る。

これらの実現を目指すことを基本方針とします。

## II 江別市総合計画との関係

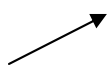
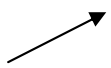
本計画の策定にあたっては、これまでのスポーツ推進の実績を継承しながら、第6次江別市総合計画のまちづくり政策分野07「生涯学習・文化」の基本方針03「市民スポーツ活動の充実」との整合を図り、その個別計画としてより具体的な基本方向と施策項目を設定し、目標を達成するため取り組みを進めていきます。

## III 目標と成果指標

本計画の推進には、各施策の実施状況や達成状況、効果・課題について、PDCA（Plan：計画、Do：実施、Check：評価、Action：改善）サイクルの考え方に基づいて点検・評価を行い、計画に反映させていきます。

成果指標については基本目標ごとに設定し、現状値については2017（平成29）年度を基準として計画最終年度（2023年度）までに達成することを目標に設定しました。

《目 標》

成 果 指 標	現状値 2017 年度 (平成 29 年度)	目標値 2023 年度
<b>【生涯スポーツの推進】</b> ・ 週 1 回以上のスポーツ活動実施率 (障がい者のスポーツ実施率)	39.8%	60.0% (40.0%)
<b>【地域スポーツ活動の推進】</b> ・ スポーツ機会が充足していると思う 市民割合	66.3%	
<b>【スポーツ環境の整備・充実】</b> ・ スポーツ施設設備の満足度	61.0%	

## IV 計画の体系

### 1. 基本目標と基本方向の設定

#### 基本目標Ⅰ 生涯スポーツの推進

- (1) 生涯各期におけるスポーツを「する」機会の提供と充実
- (2) 各領域におけるスポーツ活動の充実と関係機関・団体との連携

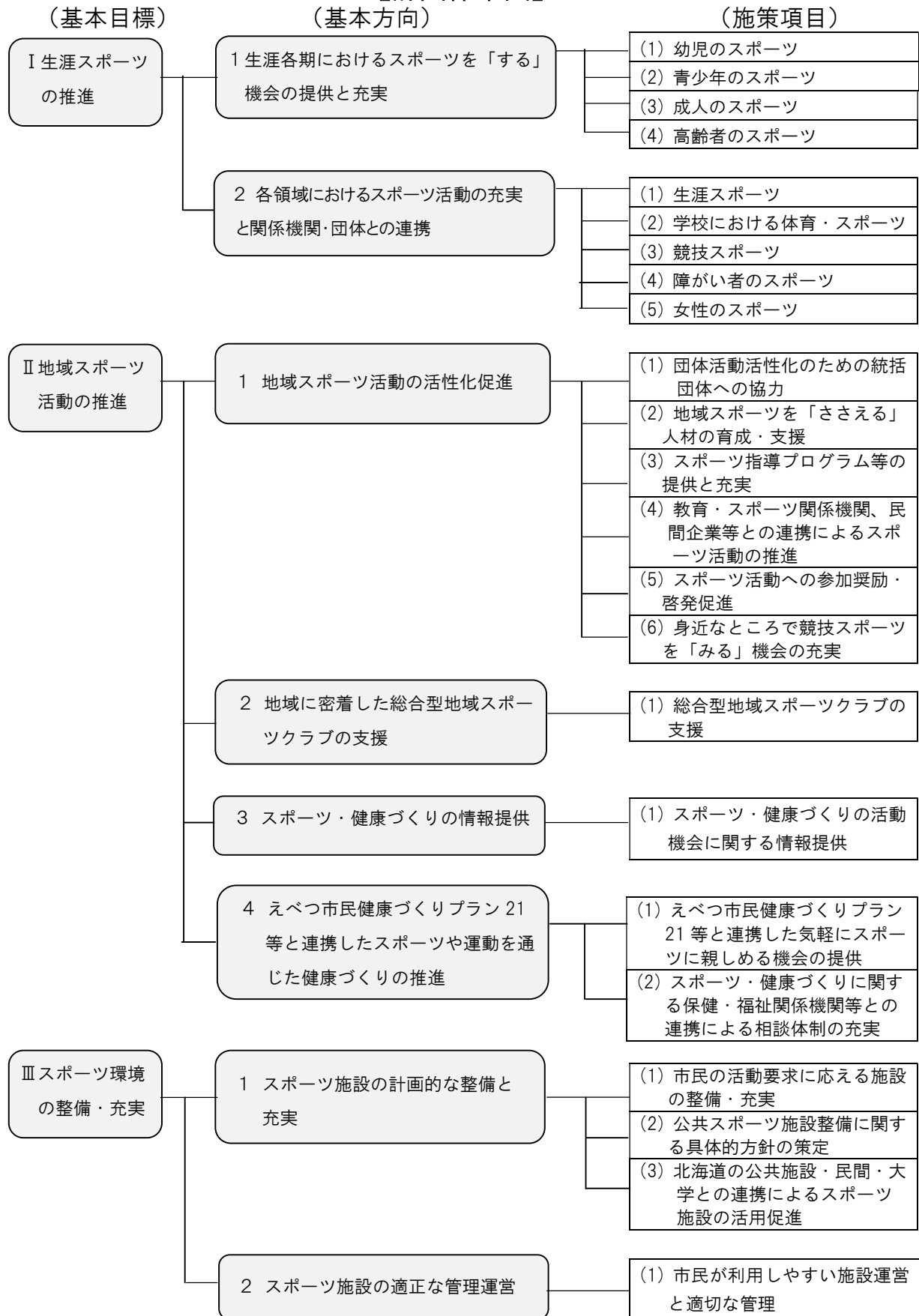
#### 基本目標Ⅱ 地域スポーツ活動の推進

- (1) 地域スポーツ活動の活性化促進
- (2) 地域に密着した総合型地域スポーツクラブの支援
- (3) スポーツ・健康づくりの情報提供
- (4) えべつ市民健康づくりプラン21等と連携したスポーツや運動を通じた健康づくりの推進

#### 基本目標Ⅲ スポーツ環境の整備・充実

- (1) スポーツ施設の計画的な整備と充実
- (2) スポーツ施設の適正な管理運営

## 【計画体系図】



## 第3章

### 基本目標と基本方向

# I 生涯スポーツの推進

## 1 生涯各期におけるスポーツを「する」機会の提供と充実

### (1) 幼児のスポーツ

#### 《推進の視点・課題など》

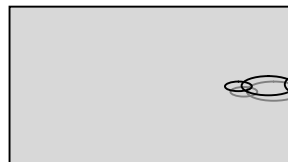
- 核家族化や共働きなどの要因で活動機会、活動時間が減少
- 身近なところに安全で、便利な活動場所が求めにくい
- 幼児期に遊びや生活の中で、多様に体を動かす体験を積み重ねることは、体力や運動能力の向上のために重要である。
- 幼児期に保護者と一緒に楽しく体を動かすことが、体力・運動能力の向上に大きな影響を与える。

#### 《施策推進の方向と概要》

幼児期から遊びや運動を通じてスポーツに親しみ、積極的にその楽しさや喜びを感じてもらう機会を幅広く提供し、保護者に幼児期の運動の重要性について理解してもらうとともに、子育て中の家族が活動しやすい施設機能の向上などに努め、子どもの心身の発育、体力の向上につながる取り組みを進めます。

#### 〔主な取組〕

- ◇幼児期から運動や遊びを通じて、楽しみながら自然と身体活動が行える取組の推進。  
※公益財団法人日本スポーツ協会の「アクティブ・チャイルド・プログラム」等の普及
- ◇幼児期に体を動かす経験をすることの大切さを保護者と共有し、親子で触れ合い体を動かすことを楽しめる機会の提供
- ◇家庭における運動のきっかけを作り、習慣的に継続させるために、大人も楽しさを共有できるような機会の提供



ひろげよう！ 家族みんなで  
楽しくスポーツの輪

(集まれ ちびっ子！元氣祭り！！)

いろいろな運動に挑戦！  
楽しみながら からだの使い方を身につけよう



(幼児運動教室)



## (2) 青少年のスポーツ

### 《推進の視点・課題など》

- 生活習慣や活動意欲の変化
- 体力・運動能力、技術力、競技力等の低下及び二極化
- 少子化や所属意識の変化等による団体活動構成員の減少
- 子どもの運動能力を高めるため、スポーツの魅力を児童生徒に伝え、参加を促していく取組が必要

### 《施策推進の方向と概要》

学校での体育科授業や部活動及びスポーツ少年団などの地域でのスポーツ活動において、それぞれの発達段階に応じて運動の基礎を身につけ習慣化、定着化を図る取り組みを通じて、児童生徒の心身の健全な発達と意識の高揚を促します。

また、子どもの運動能力を高めるためにも、様々なスポーツを経験することが重要であり、これらの活動を支える指導及びサポート体制などの一層の充実を図る取組を進め、生涯スポーツの充実期とも言える青年期へとつなげていきます。

### 〔主な取組〕

- ◇子供がスポーツに対する苦手意識を持たず、得意な種目を見つけることができるよう、多種目のスポーツを体験できる機会の提供
- ◇子供の発達段階に応じたスポーツ教室等の取組を実施
- ◇スポーツ少年団や運動部活動以外で子供がスポーツに参加できる場づくり
- ◇スポーツ初心者を対象とした各競技の初心者向けスポーツ教室の実施

**異なるスポーツ、運動経験が  
スポーツパフォーマンスの向上に  
活かせる、変えられる！**



(夏休み短期体操教室)



(小学生水泳教室)

**潜在する力の再発見が  
新たなチャンスを生み、挑戦が始まる！**

**★夢を持とう、夢に近づこう！  
★努力の積み重ねには、必ず微笑みが返ってくる！**

### (3) 成人のスポーツ

#### 《推進の視点・課題など》

- 身体的な変化や健康面のケアなどから生活にスポーツや運動を取り入れる意識は高いと言える。
- 20～40歳代の仕事や子育て等に関わる時間が多い年代で、運動やスポーツの実施頻度が多世代に比べて低い
- 活動者と非活動者の二極化が顕在化しており、スポーツ無関心層に対する興味・関心を喚起する取組が最重要課題

#### 《施策推進の方向と概要》

成人層においては、多様なスポーツ活動への参加機会の拡充を図るとともに、スポーツに対する意識の改革として、短時間のウォーキングなどちょっとしたことがスポーツであるという認識を普及することなどにより、興味・関心を高め、積極的にスポーツ活動に取り組む意欲の喚起などを進めていきます。

また、ライフスタイルやワークバランスなどに応じた健康・スポーツ活動の実態を捉え、継続的にスポーツに親しめるよう環境づくりのための施設利用工夫や利便性の配慮など、多様な参加の機会づくりを進めます。

#### 〔主な取組〕

- ◇スポーツ教室を選ぶきっかけとするための無料体験教室の実施
- ◇健康面からの運動の重要性、そのために簡単なことから実施できることの周知・啓発活動の実施
- ◇夜間の健康教室の実施など、利用者のライフスタイルに配慮したスポーツ教室の実施



(エクササイズ教室)



(おやじエクササイズ教室)

**★積極的に生活時間を見直し、習慣化できるスポーツを見つけましょう！**  
**★家族や仲間とのコミュニケーションづくりにスポーツを活かしましょう！**  
**★無理なく、ゆっくい手軽に取り組めるスポーツから始めましょう！**

#### (4) 高齢者のスポーツ

##### 《推進の視点・課題など》

- 心身の変化を受け止め、「健康」に対する理解を深める必要がある。
- 自らのライフスタイルやワークライフバランスの見直し・工夫が求められる。
- 健康寿命を延ばし、自立した生活を保つ努力が必要であり、スポーツに取り組むことにより生活習慣病の改善や介護予防等が期待される。

##### 《施策推進の方向と概要》

高齢者においては、健康寿命を伸ばすため、個々の健康状態に応じてスポーツや運動に日常的に取り組む機会を幅広く提供するほか、定期的な健診等によるメディカルチェックの活用とこれと連動した運動プログラムの実践方法等を学ぶ機会や関連する情報提供など、健康福祉分野との連携により一層の充実を図ります。

また、年齢や健康状態に応じて継続的に競技スポーツを楽しめる「マスターズスポーツ競技大会」等の普及及び参加奨励を進めます。

##### 〔主な取組〕

- ◇70歳以上を対象に、健康づくり・仲間づくりのためのレクリエーションスポーツを中心とした教室などの実施
- ◇高齢者の身近なコミュニティにおけるスポーツの効果の普及啓発やスポーツ・レクリエーション活動を行う機会の提供



(ふれあい教室)



(マスターズ卓球大会)

**★スポーツや運動、仲間との出会いを大切にしましょう！**

**★息のながあ〜い、楽しい取り組みにしましょう！**

**★心身の変化に注意し、チェックを欠かさずに！**

## 2 各領域におけるスポーツ活動の充実と関係機関・団体との連携

### (1) 生涯スポーツ

#### 《推進の視点・課題など》

- ニーズの多様化に応じた指定管理者等との事業運営の工夫・改善に向けた取り組みが必要。
- 施設の利活用に関する関係機関・団体等への相互理解と事業運営等に関する連携・協働体制の確立に向けた取り組みが必要。
- スポーツを習慣化していくためには、家族や仲間とのつながりを深め、家族同士、仲間同士など多世代にまたがってスポーツを楽しむ環境を作り上げていくことが不可欠。

#### 《施策推進の方向と概要》

市内公共スポーツ施設をはじめ、学校体育施設などの有効活用を図るほか、体育関係団体をはじめ、総合型地域スポーツクラブ等の各種関係機関・団体との連携をより一層強め、市民の多様なスポーツライフの確立とその定着化を促進します。

また、幅広い年齢層が参加しやすく、初心者や体力が劣る者でも気軽に参加できる環境づくりを促進する必要がある

#### 〔主な取組〕

- ◇各種スポーツ団体を対象とした学校開放事業など、学校体育施設の有効活用の推進
- ◇幅広い年齢層が参加しやすく、初心者でも気軽に参加できる環境づくりやスポーツイベントの開催



(学校開放事業)



(原始林クロスカントリースキー大会)

- ★運動・スポーツを楽しむチャンスを豊富に
- ★ニーズに応じ、継続して活動できる環境づくりを
- ★健康づくり・スポーツ活動に関するわかりやすい情報を提供

## (2) 学校における体育・スポーツ

### 《推進の視点・課題など》

- 子どもの体を動かす活動機会や量的不足と体力・運動能力の低下
- 少子化等による活動参加者の減少や指導者の減少への対応

### 《施策推進の方向と概要》

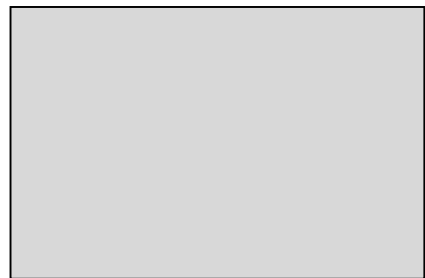
安全な活動を行うための様々な配慮や指導体制をより一層充実させるとともに、学校と地域との結びつきを活かす取組みや人材の活用など相互の連携、応援体制を築くため、部活動を含め、地域の体育・スポーツ関係指導者の活用や教員との密接な連携を通して、児童生徒の活動の充実とその支援に向けた取組みを進めます。

### 〔主な取組〕

- ◇夏休みの学校プール解放など運動機会の提供・体力向上事業の推進
- ◇放課後児童クラブ等での運動・スポーツの実施を推進する取組み。
- ◇中学校の部活動における外部指導者の活用



(部活動の様子)



(夏休み学校プール開放事業)

★「楽しく運動ができる子どもたち」を増やそう！

★「スポーツが好きになる子どもたち」を増やそう！

★「家庭や地域の人たちとの交流体験機会」を増やそう！

### (3) 競技スポーツ

#### 《推進の視点・課題など》

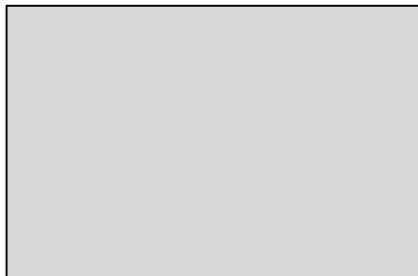
- オリンピック・パラリンピック等の開催によるレガシー形成と継承
- 国際レベルのアスリート等との交流促進による啓発と人材の育成
- 未普及競技や新たな競技スポーツの普及促進

#### 《施策推進の方向と概要》

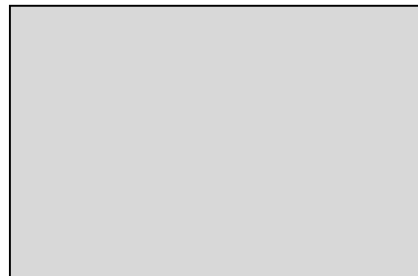
競技スポーツの普及とその振興に当たり、引き続き関係団体を中心に競技別の大会開催をはじめ、指導人材の養成、育成、活用といった取り組みなどを通じて競技人口の拡大や競技者の育成等を組織的に進めるとともに、それら関係団体との連携強化をはじめ、競技者の発掘、育成等を含めた指導体制づくりを積極的に進めます。

#### 〔主な取組〕

- ◇ジュニア層の協議普及と技術力向上に向けたジュニア育成事業の実施
- ◇スポーツ指導者を養成するための実技講習会や講習会の実施
- ◇合宿誘致事業等によるトップアスリートとの交流機会の創出



( スポーツ大会の写真 )



( ○○講習会 )

★「発表の場、活動の成果を試す場、経験値を増やす場」となる

競技大会の充実とチャンスの拡大を

★「活動の場の確保」、「指導者やサポーター等の発掘・育成」による

「活動を支える環境」の充実を

★「本物に触れ、本物を知る豊富な体験機会」の拡充を

#### (4) 障がい者のスポーツ

##### 《推進の視点・課題など》

- 障がい者の運動・スポーツ活動への誘導と習慣化への対応
- アダプテッドスポーツ普及の観点に基づく新たな機会等の提供
- 国際レベルのパラアスリート等との交流促進による啓発と人材の育成
- 障がい者スポーツを取り巻く環境への理解を深め、健常者も一緒になってスポーツに取り組める環境の整備が必要

##### 《施策推進の方向と概要》

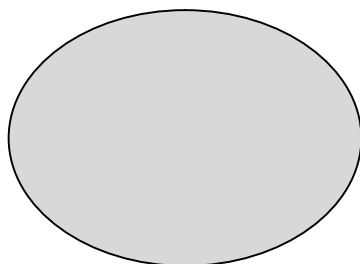
障がい者の運動習慣やスポーツ活動においては、ハード、ソフトの両面で様々な課題の改善や新たな対応や取り組みが求められるため、幅広くニーズの把握に努めるとともに、健常者とともに楽しむ交流機会を積極的に取り入れるなど、いわゆる「アダプテッドスポーツ」(注)の普及といった新しい観点による対応方策を含め、スポーツの推進に取り組めます。

また、障がいの種別・程度により障がい者スポーツ自体も多様であることから、障がい者福祉等を含めた複数の行政部局、病院関係者、スポーツ団体等様々な関係者が連携・協力した取組を推進します。

(注) アダプテッドスポーツとは、障がい者や高齢者、子どもなどが広く参加できるようにルールや用具に配慮を施す、また、新たな運動やスポーツ、レクリエーション等を創造することなどにより、一人ひとりの発達状況や身体条件に適応(アダプト)させたスポーツという意味。

##### 〔主な取組〕

- ◇障がい者スポーツの普及・理解の促進に向けたイベントの開催
- ◇市内大学等関係機関との連携による「アダプテッドスポーツ」の啓発
- ◇障がい者スポーツの実施が可能な施設の検討や情報提供



(パラ・スポ in Ebetsu)

**★障がい者スポーツ活動の日常化と「バリアフリー化」を進めよう**  
**★障がい者と健常者が一緒に楽しめる活動機会を増やす工夫し、**  
**「パラアスリート」の魅力・素晴らしさを知って、学んで、体験しよう**

## (5) 女性のスポーツ

### 《推進の視点・課題など》

- 市民アンケート(H28)をもとに、スポーツ実施率を男女で比較すると、40代・50代では女性が男性を上回っているが、他の年代においては全て男性の方がスポーツ実施率は高い。
- 小さい子をもつ母親が多い30代の女性のスポーツ実施率が特に低い。

### 《施策推進の方向と概要》

公共スポーツ施設の管理運営主体である指定管理者、体育協会、各加盟競技団体、スポーツ少年団等の関係団体と連携し、女性がスポーツに取り組みやすい活動機会の拡充や環境の整備に努めます。

また、更衣や授乳スペースを確保するなど、女性のスポーツ施設の利用に関する情報提供を行うことにより、女性のスポーツ施設の利用しやすさの向上を促進します。

### 〔主な取組〕

- ◇女性の運動機会を提供するため、女性のニーズを踏まえ、幅広い年齢層を対象とした女性限定のスポーツ教室の実施
- ◇更衣室等の改善や、商業施設・学校などでのスポーツ教室等の実施など、女性がスポーツをしやすい環境づくりの推進
- ◇幼児と保護者が一緒に参加できる教室などの実施



(エンジョイスports教室)



(親子健康教室)

**★女性のトレンドをキャッチする感性や発信力をスポーツに活かそう！**

**★女性の運動・体力づくりを進め、女性活躍を推進しよう！**

**★女性に配慮した環境整備がスポーツの振興のカギとなる！**



## Ⅱ 地域スポーツ活動の推進

### 1 地域スポーツ活動の活性化促進

#### (1) 団体活動活性化のための統括団体への協力

##### 《推進の視点・課題など》

- 市内のスポーツ団体やクラブ・サークル活動は人口の減少などに伴い、参加者も減少傾向にある。
- 各スポーツ団体の現状や市民ニーズを市と統括団体が共有し、互いに協力して市民参加を促していく必要がある。

##### 《施策推進の方向と概要》

地域スポーツの推進組織であり、スポーツ団体の統括団体である江別市体育協会の活動に協力していくことで、市民がいつでもどこでも継続的にスポーツができる環境を整えてまいります。

##### 〔主な取組〕

- ◇江別市体育協会への活動支援
- ◇市内スポーツ団体やクラブ・サークル活動の状況をホームページ等で情報提供するなど、団体活動の活性化を図る取り組みの実施

##### 【江別市体育協会】

市内に組織される体育団体を総括し、その団体との連絡調整を図るとともに、スポーツの振興と普及を通して、市民の健全な発展と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設立。

組織内には、江別市のスポーツ競技を下支えするスポーツ競技ごとの協会、連盟が〇〇団体、また、青少年のスポーツ活動を推進するスポーツ少年団が〇〇団体所属しています。

(2018.4.1 現在)

(体育協会ロゴ)

## (2) 地域スポーツを「ささえる」人材の育成・支援

### 《推進の視点・課題など》

- 地域スポーツの指導者の高齢化、後継者の確保が課題となってきたている。
- スポーツボランティア活動を実施する（始める）上で、活動内容の情報が少なく、また、募集窓口が分かりにくいことなどが課題である。
- スポーツ少年団や部活動など、児童・生徒が所属する活動団体においては、保護者や地域住民の理解、協力が必要不可欠であり、保護者同士、保護者と指導者の間に良好な関係を築くことが必要である。

### 《施策推進の方向と概要》

各種研修会や実技講習会を通じて、地域スポーツ活動を「ささえる」立場である指導者の育成、資質向上を図るとともに、指導者を含めた地域スポーツ活動団体を「ささえる」育成母集団に対しても、研修機会などを提供していくことで、効果的な活動支援のあり方、進め方などに関する理解を促します。

また、地域スポーツを盛り上げていく一体感や達成感を得られる、スポーツを「ささえる」魅力を、より具体的に発信していくことが必要である。

### 〔主な取組〕

- ◇若手指導者の発掘や指導者等の技術力向上のための各種研修会の実施
- ◇育成母集団の育成・研修機会の提供
- ◇スポーツ大会におけるボランティアの活用・育成

スポーツ少年団の原点である、単位スポーツ少年団は、子どもたちが、自主的にメンバーとして参加し、「自由時間に、地域社会で、スポーツを中心としたグループ活動を行う団体」です。

しかし、精神的にも身体的にも未熟な子どもたちを支えるためには、適切な助言・指導ができるメンバーが不可欠です。子どもたち団員とともに、指導者、育成母集団といったメンバーが、単位スポーツ少年団を構成しています。

- 指導者：指導者は、子どもたちの活動が、将来の人生の大切な基盤づくりになることを認識し、ジュニア期の発育発達に応じた、適切な指導を行います。
- 育成母集団：子どもたちの精神面、労力面、財政面での支援だけではなく、地域に住む全ての人たちが、スポーツや文化を楽しめるようなシステムづくりを目指して活動しています。

育成母集団  
概念図



(スポーツ指導者講習会)

(3) スポーツ指導プログラム等の提供と充実

《推進の視点・課題など》

- スポーツ振興財団では、個人の体力レベルや目的に応じたトレーニングメニューを作成するなど、様々な運動指導を行っている。
- 健康都市宣言を踏まえた健康寿命の延伸や、市民の健康に対する意識の向上を踏まえ、年齢や性別、障がいの有無などに応じた様々なスポーツに関する情報を提供することで、さらにスポーツ活動の充実を図る必要がある。

《施策推進の方向と概要》

スポーツ振興財団と連携し、スポーツに対する意識やニーズを把握したうえで、個人の体力や運動能力に応じた様々な指導プログラムや指導者などの情報を提供することで、個々の活動目的や目標等にマッチしたスポーツが選択できる環境の充実を図ります。

〔主な取組〕

- ◇健康・トレーニング指導相談、体力測定などの実施
- ◇各種スポーツ教室や健康イベントなどの実施

【一般財団法人 江別市スポーツ振興財団】

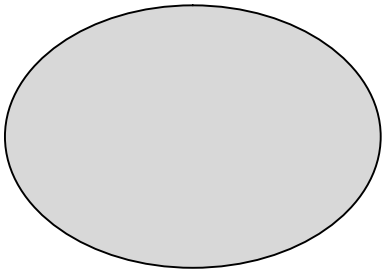
江別市におけるスポーツの普及振興のために各種事業を行うとともに、市の設置するスポーツ施設の管理運営を行い、市民の健康・体力の増進を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の向上に寄与することを経営理念として設立。

魅力あるまちづくりにおいてスポーツの果たす役割は一層重要となってくることから、「市民皆スポーツ」をさらに推進し、市民が生活の中でスポーツを楽しみ、健康で生き生きとした豊かに生活するまちづくりに努めるとともに、市民ニーズに応えたスポーツ事業の普及振興と施設サービスの提供を行っています。

スポーツ振興財団  
ロゴ



( ○○教室 )



( ○○教室 )

#### (4) 教育・スポーツ関係機関、民間企業等との連携によるスポーツ活動の推進

##### 《推進の視点・課題など》

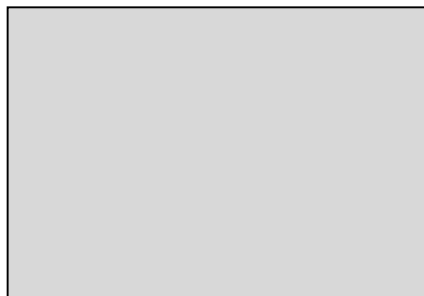
- 国の第2期スポーツ基本計画においては、「スポーツ参画人口の拡大」がポイントの1つとされており、そのきっかけとして、市の活動のみではなく、大学やスポーツ関係機関、民間企業等と連携し、情報を幅広く提供することで、より多くの市民のスポーツ参画を促していく必要がある。
- それら関係機関の情報を幅広く提供することは、スポーツを「する」だけでなく、「みる」（観戦など）、「ささえる」（大会ボランティアなど）ことなどのスポーツへの関わり方や、参画の誘導等について幅広く啓発していく必要がある。
- 地域連携の視点から、大学や民間の施設・人材を幅広く活用していくことで、人脈の広がり等、地域スポーツの活性化が期待される。

##### 《施策推進の方向と概要》

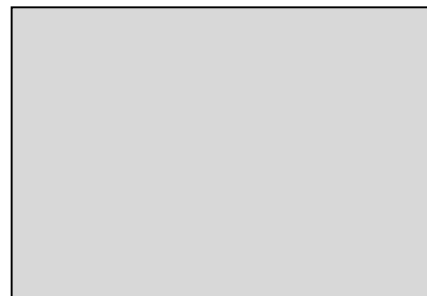
スポーツについて豊富な知識を有し、様々な実践活動を行っている大学等の教育関係機関や地域のスポーツ推進組織との連携を図り、スポーツに関する情報や相談活動などについて情報提供を進め、市民のスポーツ参画を促していきます。

##### 〔主な取組〕

- ◇市内高校・大学との連携によるスポーツ合宿誘致の推進
- ◇民間スポーツクラブ等と連携したスポーツ活動の推進
- ◇企業による健康経営の一環としてのスポーツへの取り組みの推進



( ブリック or JSS )



( 大学スポーツ )

## (5) スポーツ活動への参加奨励・啓発の促進

### 《推進の視点・課題など》

- 青少年スポーツ賞顕彰における受賞者数は増加傾向にあり、様々な取組から技術力が向上していることが伺えることから、引き続きスポーツの技術向上や日常的な健康づくりによる体力向上を図っていくことのできる環境づくりへの取組が求められる。

### 《施策推進の方向と概要》

スポーツ・健康づくりへの参加を奨励するとともに、より大きな目標に向かって取り組む団体や個人の活動支援の一助として、全道規模以上の大会などへ出場する団体や個人に対する奨励金の支給や活動成果を顕彰する制度などにより、参加者の負担の軽減やより積極的な取り組みにつなげるとともに、これらの関連制度を周知していくことで、スポーツ・健康づくりの啓発活動を進めます。

### 〔主な取組〕

- ◇各種スポーツ大会に江別市を代表して出場する選手等に対するスポーツ大会出場奨励金の支給
- ◇各種スポーツ大会において優秀な成績を収めた青少年に対する青少年スポーツ賞の贈呈



( スポーツ大会 )



( スポーツ顕彰表彰式 )

## (6) 身近なところで競技スポーツを「みる」機会の充実

### 《推進の視点・課題など》

- スポーツ合宿の受入れ件数は増加傾向にあり、全国から来る多種多様なスポーツ合宿の機会の有効活用が求められている。
- 2019年、2020年と大きなスポーツイベントが予定されており、それらに向けた機運の醸成などが必要となる。

### 《施策推進の方向と概要》

全国からスポーツ合宿の誘致を進めることで、練習などの見学、選手との交流や体験する機会を提供するとともに、ラグビーワールドカップや東京2020オリンピック・パラリンピック等の国際的なスポーツイベントを契機に市民がより積極的に関わることで、トップアスリートを「みる」機会を創出していくよう努めます。

また、スポーツを「みる」ことを通して、スポーツの楽しさや喜びを実感し、「する」ことへもつなげていきます。

### 〔主な取組〕

- ◇道外からのスポーツ競技団体の合宿受入れによる競技スポーツを見る機会の提供
- ◇2019 ラグビーワールドカップや2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うキャンプ地誘致の取り組み
- ◇各競技団体と連携した、全道・全国大会の大会誘致



(ラグビーワールドカップ)

(リオ・オリンピック (右代選手))



## 2 地域に密着した総合型地域スポーツクラブの支援

### (1) 総合型地域スポーツクラブの支援

#### 《推進の視点・課題など》

- 総合型地域スポーツクラブは、多様なスポーツのあり方を示し、提供するとともに、地域スポーツ活動の拠点としての役割も担っているが、少子高齢化による会員数の減少などにより、自立した運営が厳しい状況にある。
- スポーツ機会の充実を図るためにも、地域による主体的な運営ができるよう、活動の趣旨や内容の周知を支援していく必要がある。

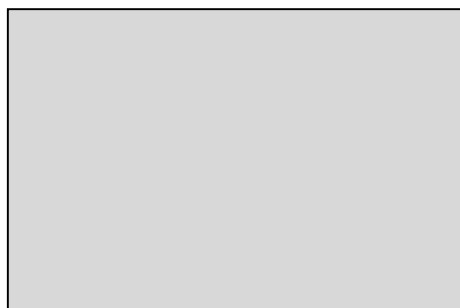
#### 《施策推進の方向と概要》

体力、年齢、目的に応じた地域のスポーツ環境を充実させるため、住民が主体的に参画する総合型地域スポーツクラブの支援を通じて活発な活動を助長します。

また、スポーツ少年団や運動部活動以外で子どもがスポーツに参加できる場の受け皿として、総合型スポーツクラブの促進を図っていきます。

#### 〔主な取組〕

- ◇総合型地域スポーツクラブの活動の紹介や各種イベント情報の提供などクラブの活動を支援する取組の実施



(総合型地域スポーツクラブの活動)

### 3 スポーツ・健康づくりの情報提供

#### (1) スポーツ・健康づくりの活動機会に関する情報提供

##### 《推進の視点・課題など》

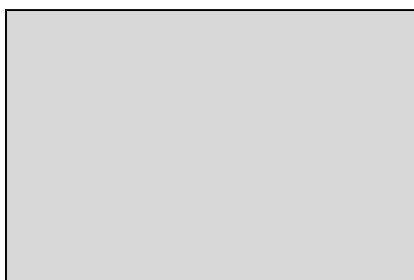
- 体育施設の利用を促進し、市民の利便性向上を図るため、各施設で実施する教室や講座、あるいは休館などの情報を効率良く、効果的に周知していく必要がある。
- 少子高齢化など、社会の変化を踏まえ、各年齢層に必要な情報を発信していくことが求められる。

##### 《施策推進の方向と概要》

スポーツや健康づくりに関する教室や講座を開催するとともに、市のホームページや広報えべつなどにより広く市民に情報提供を行っていきます。

##### 〔主な取組〕

- ◇ 広報やホームページなどを活用した各種スポーツ教室やスポーツイベントの周知、クラブ活動やサークル活動に関する情報提供
- ◇ スポーツ教室やスポーツ大会を周知、PRするためのパンフレットやチラシの作成、配付



(グリーンボール講習会)



## 4 えべつ市民健康づくりプラン21等と連携したスポーツや運動を通じた健康づくりの推進

### (1) えべつ市民健康づくりプラン21等と連携した気軽にスポーツに親しめる機会の提供

#### 《推進の視点・課題など》

- 市民健康づくりプラン21では、「運動の習慣をつけ、今より10分多く動こう」を目標に取り組を進めている。
- 国の第2次スポーツ基本計画においては、成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度としており、江別市の現状（40%）よりもかなり高い目標を掲げている。
- 国が推奨するのは「30分・週2回以上の運動を1年間継続する」であり、このような運動習慣をもつ人は、もたない人に比べ、非感染性の病気（がん、糖尿など）による死亡率が、約10%低いことから、運動の習慣をもつことが健康づくりにおいて重要である。

#### 《施策推進の方向と概要》

市民健康づくりプラン21と連携を図り、健康づくりのためのスポーツ運動の習慣づけについて、関係部署との情報交換により、健康づくりの面からスポーツを推進していきます。

また、気軽に自分に合ったスポーツが見つけれられるようなスポーツ体験事業や、スポーツを継続していくきっかけとなる機会の充実を図ります。

#### 〔主な取組〕

- ◇関係部署が連携した運動のきっかけ作りにつながるスポーツ教室の実施
- ◇体力の向上や疲れにくい体づくり、むくみ・慢性痛など様々な不調の解消を目指した体調改善教室の実施
- ◇誰でも気軽に楽しめる軽スポーツの出前講座を実施

(ウォーキング大会)



(2) スポーツ・健康づくりに関する保健・福祉機関等との連携による相談体制の充実

《推進の視点・課題など》

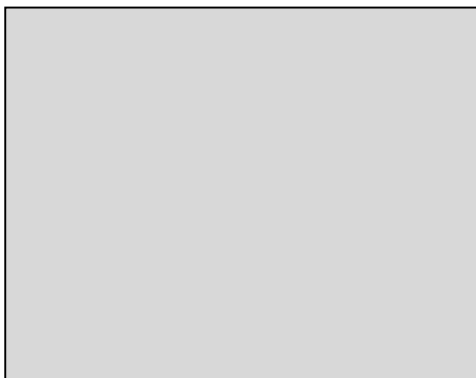
- 健康意識を高めるためには、まず、関心をもってもらうことが必要であり、そのために健康づくりに関する教室や、障がいのある方のスポーツ・レクリエーション活動への参加機会を提供していくことが必要である。
- 関係機関との連携によるこころと体の健康の保持、生活習慣病予防のため、運動を継続できる環境と相談窓口の充実が求められる。

《施策推進の方向と概要》

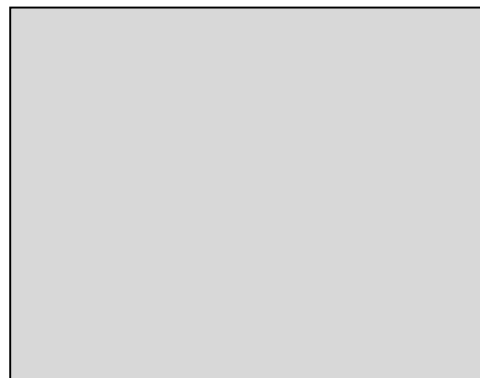
保健や福祉などの関係機関と連携を図り、スポーツ・健康づくりに関する相談や健康づくりプログラムの充実を図るとともに保健師等、相談者の窓口となる部署からスポーツ参画を促していきます。

〔主な取組〕

- ◇保健センターにおける健康相談体制の整備や体力向上に関する情報提供、スポーツプログラムの紹介
- ◇江別市独自のエクササイズ「E-リズム」の普及啓発



(健康相談の様子)



( E-リズム )

### Ⅲ スポーツ環境の整備・充実

#### 1 スポーツ施設の計画的な整備と充実

##### (1) 市民の活動要求に応える施設の整備・充実

###### 《推進の視点・課題など》

- 利用者の増減見込み等を踏まえた屋外施設を含むスポーツ施設のあり方について検討が求められている。
- 利用者団体などから、施設の整備や機能の拡充等について様々な要望があり、それらについて効果的かつ計画的に対応していく必要がある。

###### 《施策推進の方向と概要》

市民が日常的にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の整備や充実を計画的に進め、安全で快適に利用できるスポーツ環境づくりを進めます。

###### 〔主な取組〕

- ◇スポーツ施設の計画的な改修整備
- ◇老朽化した備品等の計画的な更新

##### (2) 公共スポーツ施設の整備に関する具体的方針の策定

###### 《推進の視点・課題など》

- 市営プールを備えた青年センターの老朽化。
- 市民体育館、大麻体育館の経年劣化。
- 利用者の増減見込み等、今後の需要を踏まえた屋外施設を含むスポーツ施設のあり方について検討が求められている。

###### 《施策推進の方向と概要》

市の公共スポーツ施設全体の改修や整備に係る具体的な方針を、個々の施設の状況や求められる機能等を把握したうえで、策定します。

###### 〔主な取組〕

- ◇青年センター及び各施設に対する市民ニーズや人口動向、財政状況等を踏まえた公共スポーツ施設の改修・整備に係る方針の策定

### (3) 北海道の公共施設・民間・大学との連携によるスポーツ施設の活用促進

#### 《推進の視点・課題など》

- 民間等の施設を有効に活用し、スポーツ団体や一般利用者の活動の場を確保していくことが求められる。

#### 《施策推進の方向と概要》

学校施設や民間等のスポーツ関連施設との連携を図り、適切に情報提供していくことで、使用団体等の活動場所の確保と施設の有効活用を図ります。

#### 〔主な取組〕

- ◇民間等他施設の利用情報の提供
- ◇スポーツ合宿等における大学等のスポーツ施設の活用推進

## 2 スポーツ施設の適正な管理運営

### (1) 市民が利用しやすい施設運営と適切な管理

#### 《推進の視点・課題など》

- 限られた施設・予算の中で、利用時間や設備の改善など、利用者のニーズ・優先順位を見極めながら、適切に対応していくことが求められている。
- より多くの市民が気軽に利用し、スポーツに取り組めるよう、必要な設備やスポーツ教室の内容等を検討していく必要がある。

#### 《施策推進の方向と概要》

ホームページなどでスポーツ施設の利用情報などを充実させるとともに、市民や利用者からの要望・意見を参考にした適切な施設の管理運営を進めていきます。

指定管理者制度により施設の管理を行っている団体と連携を図り、各種大会や教室の開催など、スポーツ関連施設の効率的な活用を図ります。

#### 〔主な取組〕

- ◇指定管理者と連携した利用者へのアンケート調査等による要望、改善点等の把握
- ◇各種大会の実施やスポーツ教室の開催による効率的な施設活用の推進

## 資料(案)

- ・ 諮問書
- ・ 答申書
- ・ 「第6期 江別市スポーツ推進計画」に係る意見書
- ・ 計画策定審議経過
- ・ 江別市スポーツ推進審議会委員名簿
- ・ スポーツ推進計画策定庁内会議メンバー
  
- ・ えべつ市民健康づくりプラン21（概要版・抜粋）